

水戸市消費者物価指数の動き

県統計課消費統計係

1. 指数の概況

昭和45年水戸市消費者物価指数の平均は、昭和40年の指数を基準年次として、これを100としてみる場合採用品目の総合指数は132.0となり、昭和44年平均の総合指数122.3に比べ7.9%の上昇を示した。この上昇率は昭和40年の9.3%に次いで大きな伸びであつた。これは、過去の昭和41年の4.4%、42年の3.4%、43年の6.5%、44年の6.4%をいづれも上回る上昇率であつた。さらに全国平均の上昇率7.7%をも若干上回つている。

これら一連の上昇の主な原因となつたのは住居品目の中の水道料、設備修繕の値上がり10.1%、食料の野菜、果物、加工食品、生鮮魚介、菓子、飲料等の9.5%とともに大幅値上がりとなつたためである。このほか身の回り品、衣料品目の中の被服が7.2%、文房具、保健医療、教養娯楽、理容衛生等の雑費が5.8%とこれまたかなりの上昇であつたが、光熱だけは2.4%の上昇にとどまつた。

2. 年間の変動

これを年間を通じた時期的な消費者物価の動きをみると1月—3月は、野菜、果物、生鮮魚介等の季節商品に値上がりがあつた。また4月には新学期を迎え文房具、及び水道料等に値上がりが見られ総合指数では前年の12月から5カ月間上昇を続けた。しかし5月に入り季節商品の野菜、果物が値下がりし、さらに6月には生鮮魚介、7月には乾物が値下がりし、物価指数は3カ月間下落を続けたけれども8月に入ると生鮮魚介、野菜が反騰し、さらに9月には乾物、調味料、衣料等の値上がりがかつて、対前月比は、本年最高の3.6%の上昇となつた。10月に入ると生鮮魚介が反落したものの野菜、衣料が引き続き値上がりし、指数は138.6と本年の最高を示し、対前月比は2.5%、前年同月比10.3%と大幅な伸びを示した。11月には野菜、果物が反落し、生鮮魚介も引き続いて値下がりしたため対前月比は1.7%の下落を示した。12月は野菜、乳卵、教養娯楽に値上がりが見られたが生鮮魚介の値下がりによりほぼ相殺され、対前月比は0.1%の微騰であつた。

3. 5大品目別分析

(1) 食料指数

135.9で前年の124.1に比べ9.5%の上昇で前年の上昇率7.6%を上回つた。

これは、白菜、玉ねぎ、大根等の野菜34.7%、夏みかん、りんご紅王、すいか等果物が25.6%と大幅に上昇したのが主因である。

(2) 住居指数

水道料16.3%を初めベニヤ板、塀工事、板ガラス等の設備修繕費13.9%等が上昇したため、住居指数は138.5となり前年の125.8に比べ10.1%の上昇となり、前年の上昇率8.1%を上回つた。

(3) 光熱指数

木炭、石炭、れん炭、灯油等の値上がりで5.0%の上昇

があつたため103.5で前年の101.1に比べ2.4%の上昇を示し、前年の上昇率1.7%を上回つた。しかし反面ガス代だけは0.2%の下落を示した。

(4) 被服指数

仕立代、野球帽、婦人ゾウリ、婦人皮靴等の身の回り品が10.7%、さらに男子シャツ、背広冬服、タオル、ぬい糸等の衣料が5.7%と上昇したため指数は126.3となり前年の117.8に比べ7.2%上昇し、前年の上昇率6.4%を上回つている。

(5) 雑費指数

文房具25.0%、保健医療7.4%、教養娯楽6.2%といづれもかなりの上昇率であり、このほか理容衛生、タクシー代、通話料、バス代、P・T・A会費、幼稚園保育料等の値上がりがかつて指数は131.4となり前年の124.2に比べ5.8%の上昇を示し、前年の上昇率5.0%を上回つている。

4. 寄与率

総合指数の上昇率7.9%に各項目の上昇率がどのように影響したかをみるため7.9%を100%とすると、食料49.9%と全体の約半分を占め、次いで雑費22.1%、住居15.3%、被服11.4%で光熱は1.3%と小さな寄与率である。

5. 都市別の比較

総合指数の対前年上昇率を関東甲信地区の県庁所在地都市別にみると別表にみられるように、前年5.8%の横浜市が8.4%と最も大きな上昇を示し、ついで前橋市、水戸市、甲府市とつづいている。また前年最高の上昇率6.5%を示した宇都宮市は6.4%と前年の上昇率を上回つた上昇率ではあるが地区中では最も低い上昇率であつた。

総合指数の都市別上昇率比較 (40年=100)

都市別	総合指数		対前年上昇率(%)	
	44年	45年	44年	45年
全国平均	121.1	130.4	5.2	7.7
水戸市	122.3	132.0	6.4	7.9
宇都宮市	123.3	131.6	6.5	6.7
前橋市	119.4	129.0	5.7	8.0
浦和市	121.1	130.6	4.8	7.8
千葉市	121.3	130.2	5.9	7.3
東京都	121.6	130.4	5.6	7.2
横浜市	120.8	130.9	5.8	8.4
甲府市	120.3	129.8	5.1	7.9
長野市	121.4	130.7	5.9	7.7

